

公表

【児童発達支援】事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス エンジェル守山				公表日	令和8年 2月 23日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		児童の状態に合わせ、声かけ等を行い、楽しく過ごせるようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		シフト配置時に基準を満たせるように調整している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		必要に応じてステップ台や補助便座などを使用している。階段があるため、幼い児童等が登ってしまわないようにゲートを設置している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃・消毒を実施している。また、危険な箇所等が見つかった場合は適切に修繕等を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもが静かに落ち着くための部屋を用意している。	間取り上、他児の声が聞こえてしまう場合がある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者評価を実施し、改善できる点から改善している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な面談を実施しているとともに、評価アンケートを実施し、意見の集約と改善を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部による評価は実施できていない。実施できるように体制を整えていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な研修を行い、職員全体のレベルアップを図っている。また、研修項目についても職員の意見を確認している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成し、ホームページにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		個々に行動観察を行いつつ、その様子を送迎時等に共有するだけでなく、定期的に評価とアセスメントを実施している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全体での会議を行い、支援方針の共有と具体的な支援方法について検討を行っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		上記の全体会議で共有を行いつつ、会議録や支援計画等は個々のファイルに保管し職員が閲覧できるようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動観察を中心にアセスメントしている。K式等の発達検査の結果は保護者を通じて確認できるように依頼している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		出来る限り具体的な支援を実施できるように作成と共有を行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間でやりとりをしながら、プログラムを立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		当月だけでなく、前月、前々月を確認し、内容が固定化されないよう工夫している。また利用曜日によって狙いが固定化されないようにしている		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの興味・関心から行う個別での活動と集団を意識した設定活動とを日々実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼やランチミーティングを通じてその日の設定活動の取り組みや配慮すべき点を確認、共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		児童やお送りの際の保護者の様子等は都度、アプリを用いて共有している。そのうえで気になったことは翌日の朝礼にて対応を検討している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		専用の複写式記録用紙を用いて、利用日毎に記録し、保管している。原則保護者にもその日のうちに交付している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定められた期間内にモニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議自体が少ないが、子どもの状態像が分かる職員が参加するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		求めがあれば動けるように体制を組んでいる。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者の意向等も踏まえたうえで、集団参加ができるように支援を行っている。情報	保育園や幼稚園との並行利用に関しては市町が、決まっている側面もある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		ライフステージの変化だけではなく、生活の変化(引越等)の際は保護者に情報提供ができる旨を知らせ、その意向を確認している。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			その機会は少ないが個々のケースで必要ならば、その機会を設けたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			地域の公園で遊ぶ機会はあるものの交流を目的とした活動ではない。ニーズに応じ、検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に様子を伝え、現状の共有を行っている。合わせて、保護者の気持ちや願い等を確認し必要に応じて面談や電話を行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		面談などで希望があれば、調べて情報の提供を行っている。	事業所主体での取り組みに関しては検討を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に説明している。	左記のように取り組んでいるが、料金や加算で質問をされる場合があり、その場合は改めて丁寧に説明している。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		評価と合わせて面談を実施し、利用児童や保護者の意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		作成後、説明と交付の機会を設けている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者のニーズだけでなく、直接会った時の様子を共有し、必要なら面談のアポイントメントを取って面談している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			ニーズがどの程度あるかが不透明で他事業所等の様子も確認し、検討をしている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		窓口を設けている。日々の利用時での苦情に関しては確認の上、対応とフィードバックを実施している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSによる発信を行っている。また、台風や降雪に関する対応に関しては個々のケースで連絡を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		SNSの投稿時などは、個人情報の漏洩がないように最新の注意を払っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児童や保護者の状態像に合わせて、話し方や話す内容を留意して話している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			機会があれば、検討したい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		作成し、事業所内に掲示を行っている。	利用者の手の届く位置に掲示しているが、認知されていない傾向が見られる。よりよい周知方法を検討する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		マニュアル作成を行い、児童とともに消防署にて研修を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		保護者に情報提供を依頼し、可能な限り把握するように努めている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者に情報提供を依頼し、可能な限り把握するように努めている。また契約時に食物アレルギーに関しては確認を行っている。またの上でクッキングを実施する際は、除去するとともに事前に使う食材を連絡し、安全を担保している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		情報の共有を行い、今後の対策を確認して再発防止に努めている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を実施している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			個別支援計画に記すほか、契約時に身体拘束について、重点的に説明を行っている。		

公表

【児童発達支援】保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス エンジェル守山

公表日 令和8年 2月 23日

利用児童数

2名

回収数

2名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2				・子どもが楽しめるイベントをたくさんしてもらっている	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1			1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2				・利用前に丁寧に説明してもらえた。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1			1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	2				・迎えに行くと、子どもの1日の様子や出来事を教えてもらえる。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1			1		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				・LINEにてスムーズなやり取りができている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2				・Instagramを頻度よく更新できている。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2				・職員さん達のことが大好きで安心して通っている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2				・到着すると、いつもニコニコで走って建物へ入っていく。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				・いろいろなところにお出かけしてもらえて、家ではできない経験をたくさんしてもらえるのでも満足しています。 ・いつもありがとうございます。	

公表

【児童発達支援】事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス エンジェル守山		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2025年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援に対する満足度の高さ	専門職の配置 計画作成に伴うプロセスの順守 活動場所の美化や整備をまめに行っていること 利用児童や保護者とのやりとりをこまめに行っていること	左記の取り組みの継続 なかなか会えない保護者との関わりを増やすための方法を検討する。
2	保護者への報連相の徹底	相談や苦情に対するフィードバックの徹底 契約時に疑問が出やすい項目のフォローアップをしている。	具体的な事柄への満足感が高い反面、感染症対策をはじめとした各マニュアル整備や訓練・研修についてはもう少し周知を図るよう検討する。
3	保護者とのやりとり	相談してよかったと思ってもらえるように態度や聞き方等を共有・検討している。	左記の取り組みの継続

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学童や他事業所、地域の方との交流の機会が少ない。	地域のイベント等を知る機会が少ないこと 参加するための下準備や地域の方々への周知等の時間がとりにくい	情報収集力の向上 参加に向けて、諸団体との連絡を取っていく。
2	利用者さま同士の交流の機会や研修の場が少ない。	どの程度の希望があるのか、把握できていない。アンケートを見ても「わからない」という意見が多く、実態をつかめていない。	「求めている」という意見もあり、まずはどの程度の希望があるかを把握し、そのうえで実施の有無や方法などを検討していく。
3	お子さまの様子以外の発信がやや弱い。	各マニュアル等の設置が周知しきれていない傾向がアンケートよりうかがえた。	SNSでお知らせしにくいことに対する発信方法の検討。 新規従業員に対してのフォローアップ方法を検討する。